

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	疾病論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	原 太久茂	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 何が原因で病気となり、どのように進行していくのか、結果どのような状態に体になるのか追求していく科目である。病気の際に起こっている体の形態の微細の変化や目に見える変化、そしてそのことで起こってくる機能の異常を明らかにすることによって、病気の本質を知ることができる。健康問題を抱えている患者に生じている様々な人間的な変化(反応)を看護するわけであるから病気に対応できる必要がある。病気の本質を知ることには病気を理解することにつながるため重要である。病気理解の基礎をつくるために学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》 参加状況・筆記試験により総合的に評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学2 呼吸器、3循環器、4血液・造血機 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野4 病理学 医学書院						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 呼吸器疾患(肺結核、肺炎)の疫学、症状、検査、治療を述べることができる	テキスト	(課題)	
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の疾患 主要疾患 肺結核 肺炎			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.呼吸器疾患(肺繊維症、肺がん、COPD)の疫学、症状、検査、治療を述べることができる	テキスト	(課題)	
		各コマにおける授業予定	肺線維症 肺癌 閉塞性肺疾患と拘束性肺疾患			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.呼吸器疾患(気胸、肺梗塞、肺塞栓)の疫学、症状、検査、治療を述べることができる	テキスト	(課題)	
		各コマにおける授業予定	気胸 肺梗塞、肺塞栓			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1呼吸器系の主要症状について説明できる	テキスト	(課題)	
		各コマにおける授業予定	主要症状 喀痰、血痰・咯血、咳嗽、胸痛、呼吸困難、チアノーゼ、喘鳴			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 呼吸器疾患の検査、処置について説明できる	テキスト	(課題)	
		各コマにおける授業予定	検査と治療・処置 合併症 予後			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.循環器疾患(虚血性心疾患、心筋症、不整脈)の疫学、症状、検査、治療を述べることができる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	循環器系の主要疾患 虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞) 心筋症 不整脈		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.循環器疾患(弁疾患、動脈硬化、高血圧症)の疫学、症状、検査、治療を述べることができる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	心内膜炎と弁膜疾患 動脈硬化症 高血圧症		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 主要な血管系疾患の疫学、症状、検査、治療を述べることができる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	閉塞性動脈硬化症 胸部、腹部大動脈硬化症 静脈病		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 循環器系の主要症状について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	主要症状 胸痛、動悸、呼吸困難、浮腫、チアノーゼ、めまい・失神、四肢の疼痛、ショック 心不全		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 循環器系の検査・治療について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	検査と治療(内科的治療・外科的治療・補助循環装置) 合併症 予後		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 血液・造血器疾患(白血病、血友病)の疫学、症状、検査、治療を述べることができる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	血液・造血器系の疾患 主要疾患 白血病 血友病		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 血液・造血器疾患(DIC、貧血、悪性リンパ腫)の疫学、症状、検査、治療を述べることができる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	DIC 貧血 悪性リンパ腫		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 血液・造血器疾患(多発性骨髄腫、ACD)の疫学、症状、検査、治療を述べることができる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	多発性骨髄腫 ACD		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 血液・造血器系の主要症状、検査・治療について説明できる	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	主要症状 貧血、発熱、リンパ節腫脹・脾腫、出血傾向 検査・診断と治療		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 血液・造血器疾患の合併症について説明をする	テキスト	(課題)
		各コマにおける授業予定	合併症 予後		